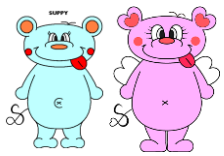

令和６年７月４日

生 徒 指 導 部 通 信　第６号

大阪府立吹田東高等学校　生徒指導部

お叱りをいただいています！

いろんなマナーについて考えよう

通学、学校生活、そして社会生活

先日、学校に「指導を徹底してほしい！」と電話がありました

近隣にお住いの方から、次のようなお電話を頂戴しました。「（運転中）産業道路、ガソリンスタンドの交差点で赤信号を自転車ですごいスピードで渡ってきた生徒がいた。急ブレーキをかけて接触はしなかったが、ぶつかっていてもおかしくない。日ごろから吹田東高校生の自転車マナーが悪すぎる。指導を徹底してほしい・・・。」とこのことでした。電話応対した先生によると、相当お怒りのご様子だったとのことでした。

そのお怒りはまったく当然のことです。もしぶつかっていたら、生徒本人の命にかかわることになると同時に、赤信号とはいえ運転者にも大きな責任が生じる可能性があります。危ういところで危険回避できたとのことですが、運がよかったではすまされない問題です。
生徒のみなさんはこの話をどのように感じますか？

自転車安全講習を今一度思い出してください。自転車は交通法規を厳格に守るべき「車両」です。赤信号を渡るなどもってのほかですし、通行レーンなども規定があります。二人乗り、「ながら運転」も禁止、スピードの出しすぎも禁物です。自転車にぶつかってお年寄りや子どもが亡くなる事故も起こっています。この問題をわがこととしてとらえて自分と他者の命と安全を守るマナーで自転車に乗ってください。

改めてマナーについて考えてみる・・・

マナー（manner）とは何でしょうか。礼儀や作法のことですが、相手や周囲の人への気遣い、さらに言えば敬意とか尊重に基づく態度です。それは、たとえ人が見ていないときでも同じようにふるまわないといけません。学校生活・集団生活や公共の場では当然、意識すべきことです。ある意味、人を意識すれば「これはやったらあかんな」とか「これをしたら人が迷惑するな」という自然な発想でおのずとその場にふさわしい行為・マナーがでてくるといえるでしょう。

筆者は生徒のトイレをたまに使いますが、最近、洗面台や個室の汚れ・屑が目立つなと感じています。「なんで壁にトイレットペーパーの屑がついているの？」ということもあります。教室の壁も汚れが目立つようになってきましたが、上履きの底をあてていないでしょうか。SNS も含め、いろんな場面で自分と他者の関係からあるべきマナー（作法・礼儀）について考えてください。